

項目	観点	自己評価		学校関係者評価		今後の学校改善に向けて		
		小項目評価	中項目評価	中項目評価	意見、提言等			
1	学び合い (協同的な学び)	1 支持的風土を育てる学級・学年集団づくりの実践	B	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ○本年度より、学校アンケートに、「『学び合い』学習は効果的(授業がわかりやすくなった、クラスの友達と仲良くなった)と思いますか。」という質問項目が設けられ、取り組みの成果が、顕在化されたことは、ひとつつ成果である。学校アンケートの結果は、概ね肯定的である。 ○「学び合い」の浸透については、校内研修・研究推進委員会を中心に、交流も深まっている。以下は、今年度の研究授業の実施結果である。 6月10日(火)3年校内研(特設授業) 8月 学年ごとのビデオによる研究会【全学年】 11月11日(火)2年校内研(特設授業) 2月3日(火)1年校内研(特設授業) ●男女混合4人組でない「課題」の設定、コの字型でないことつながることができない聴き合う関係性に取り組み必要がある。具体的には、「①自分でできる ②誰かの手助けでできる ③できない」のうち②の課題を、徹底して設定することである。 	<ul style="list-style-type: none"> * やれる教師だけが取り組んでいても効果がない、やると決めたら全教科、全教室でやるのが大事。先進校の粟津中では学校に入った瞬間に落ち着いた雰囲気を感じられる。継続と持続が鍵である。 * 中学校では、教科間の違いから共通テーマで校内研究をすることは難しいが、「学び合い」は全員で取り組んで良い。 * 学び合いを取り入れる部分を調整し、無理のない運用を考えていく。 * 学びの質が高まるように、工夫を重ねてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> * 学校改革を支える3つの哲学 ①公共性の哲学、②民主主義の哲学、③卓越性の哲学において、特に①の「公共性の哲学」を重視する。学校は公共空間であり、どんなに優れた実践を行っていても、一年に一度も教室を公開していないままでは、学校全体が改善しない。自らの授業を公開し、すべての同僚とともに 子供を育てていく必要がある。(公開授業の徹底) * 「質と平等」一人残らず子供の学び権利を実現し、その学びの質を高める学習の同時追及のために、「学び合い」をさらに浸透させる。 * 「形よりも質」をテーマに、「課題の設定、授業の出だしの工夫、支え合う関係を作ること」などを重点課題とし、これからは生徒主体の授業を目指す必要がある。 * 研修部の部員を増員し、研究体制の充実を図る。 * 次年度は3年目を迎えるので、これまでの「学び合い」の軌跡をまとめる。 * 「学びの共同体」の研修会へ行き、研鑽を積む。 * 授業参観の機会を通して、保護者に「学び合い」についての理解を図る。
		2 協同する経験・伝え合う喜び・コミュニケーション能力の育成を図る授業の工夫改善	A					
		3 学び合いを追求する授業研究や研修会	A					
2	道徳教育の充実	4 規範意識や礼儀など正しい道徳的判断力や心豊かな生徒を育成するための道徳の時間の充実	B	B	B	<ul style="list-style-type: none"> * 道徳教育の根拠の部分は家庭が担うものである。紙面を使って授業を積み重ねても、すぐに結果が出るものではない。幼稚園や小学校で徹底的にやるべきである。 * 礼儀や規範意識については、繰り返して話していくしかない。心に響く工夫が必要である。 * 会津藩の塚のように「だめなことはだめ」といつの時代にも通じる不易の部分をもっと大切にほしい。 		
		5 生命等を尊重する心やいじめを許さない態度などの道徳実践力を育てる活動の実施	B					
		6 道徳の授業研究や資料の開発・整備・交流	A					
		7 保護者等への道徳の授業公開	A					
3	人権教育の充実	8 人権意識や思いやりの心の育成	B	B	B	<ul style="list-style-type: none"> * 完全に相手を傷つける言葉をなくすことは難しい。子どもの世界だけきれいにするにはできないことではない。 * 以前は人権教育といえば、同和問題が中心であったが、最近では幅広く人権学習をする中で、知識の理解がどこまで浸透しているの心配な部分もある。 * 上記の「学び合い」を推進することは、子どもがお客さんにならない授業を行ったり、授業中に他の生徒の発言を尊重する雰囲気を作ることができ、人権教育の基礎作りになる。 * いじめの対応は、重点的に取り組んでいる。しかし、いじめのみが突出して扱われている感が否めない。すべて大人が介入することにより、自己解決能力を妨げることになっていないか心配している。 		
		9 いじめ問題への対応	A					
4	体力づくり	10 たくましい心と体を育てる魅力ある授業の工夫改善	B	B	B	<ul style="list-style-type: none"> * 近年の生徒は、発達のバランスが悪くなっている。基本的な体力強化につながる運動に苦手意識があるので、バランスよく基本運動を取り入れるべきである。 		
		11 体力づくりを推進する運動実践	B					
		12 体を動かす気持ちよさを体験させ、進んで体を動かそうとする意欲の育成	A					
5	指導改善 (組織的、計画的)	13 学力向上を目指した指導体制・指導方法の工夫改善	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> * 家庭学習の時間の確保が大切である。習慣化することが何よりも大切である。学習の手引きはその参考になる。 * 塾に行くことで学習姿勢が受け身になってしまう傾向にある。学校は、学ぶことの楽しさを教えていただき、どうすれば能動的に学習に取り組めばよいか教えてほしい。 * 将来社会に出るにあたって、必要不可欠な学力を身につけさせてあげてほしい。 		
		14 教職員の指導力及び3公・3現の2原則に立った組織的な教育力の向上	B					
		15 ICT活用による校務の効率化と教育活動の質の改善	A					
6	家庭・地域との連携	16 保護者の子育てに対する積極的な支援	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> * PTA活動が、学校の子育て支援において貢献ができたことは光栄である。保護者と学校の信頼関係を築くことは、互いの努力が不可欠である。 * アンケートの回収率はかなり高く、関心の高さを感じた。アンケートにより意見聴取は有効である。 * 小学校のPTA役員をしていた時は、中学校の敷居が高く感じた。小中連携が大事であると感じた。 * 地域懇談会は貴重な意見を聞く場である。 		
		17 保護者の悩みを聞く個別相談の実施	B					
		18 保護者・地域との交流や情報発信、参観、懇談会、研修会の実施、地域人材の活用	A					
7	保幼小中の連携活動	19 子どもの校種間交流や教員の出前授業	A	B	B	<ul style="list-style-type: none"> * 4つの学区の連携が難しいと感じることがある。 * 中学校は思春期という難しい時期であり、接続をスムーズに行うためにも、小中連携が大切である。 		
		20 校種間の合同研修会	B					
		21 校種間の授業公開、カリキュラム研修	B					

項目	観点	自己評価		学校関係者評価	今後の学校改善に向けて			
		小項目評価	中項目評価	中項目評価				
8	生徒指導体制の充実	22	B	B	B	<p>○定例の生徒指導部会、教育相談部会の充実を図り、情報の共有や対策等、校内の生徒指導体制の整備に努め、問題の早期発見・解決に努めた。</p> <p>○各学年の生徒指導が、生徒の発達段階を考慮しながら、主体的に取り組を進めることができた。</p> <p>○OSCの常駐校として教育相談の充実を図り、不登校生徒対象の別室を開設した。</p> <p>○地域と学校が連携してあいさつ運動に取り組み、生徒を見守ることができた。</p> <p>○現在の服装規定になって16年が経過し、見直しをかけるため、皇子山服装プロジェクトを立ち上げ検討を重ねてきた。教師間での協議を重ねながら、生徒会の「皇中MAKE」の取組を通して、現在の服装規定と現状を見つめ直してきた。1月19日に臨時生徒総会を開催し、新しい制服制定への方向性を確認した。平成28年度新制服制定に向けて、意思統一を図った。</p> <p>○生徒会活動は、いじめのない学校、ゴミのない学校、あいさつのできる学校を目指して、常時活動の充実を努めた。</p> <p>●学校での指導を繰り返し、関係機関にも助言を得ながら対応しているが、なかなか改善が見られないケースもある。</p>	<p>*問題行動は多岐にわたり、教師の対応の難しさを感ずる。精神的に不安定さを抱える生徒も、思春期を迎え増えてくる中、専門的な知識を持った方の意見を聞くことも大切である。</p> <p>*先生方は放課後大変忙しいとは思いますが、生徒の話をしっかり聞いてあげてほしい。スクールカウンセラーへの相談にはまだ抵抗のある生徒もいる。</p> <p>*皇中MAKEによる生徒会の活動は、子どもたちが自分の状況を見直す上でも、本当に良い機会だと思う。</p> <p>*生徒から学校を元気にする声をもっと上がってほしいと期待している。</p> <p>*生徒会では執行部と一般生徒の壁をどう乗り越えるかが課題である。</p>	<p>*2学期以降、生徒のさまざまな問題行動が発生しているが、生徒個々への深い関わりをもってきたことや地域や関係機関との連携を密に図ってきたことで、現在の状況が維持できていると思われる。</p> <p>*スクールカウンセラーが常駐している利点を生かし、より専門的な助言を求める姿勢が大切である。</p> <p>*常に危機意識を持って、組織的に生徒指導に取り組んでいくことがこれからも大切である。</p> <p>*家庭訪問を大切にしながら、これからも足で稼ぐ生徒指導を継続していく必要がある。</p> <p>*問題の早期発見・早期対応に努めるため、情報伝達およびルートを再確認する。</p> <p>*いかなる状況であっても、情報伝達や連携がスムーズに図れるよう、職員意識向上と組織強化を図る。</p> <p>*服装プロジェクトについては、新制服制定に向けて多くの意見を取り入れながら推進するとともに、皇中MAKEにより現行の服装についても意識を高める取り組みを実施する。</p>
		23	A			<p>○●生徒の困り感を和らげるための支援について、保護者と連携し、スクールカウンセラーの助言のもと個別の指導計画を作成し進めることができた。夏の研修会で作成にあたってのポイントがスクールカウンセラーより受けて改良できたが、指導計画の有効活用に向けて校内組織としての体制を確立し、工夫することが必要である。</p> <p>○スクールカウンセラーの常駐により、専門的な視点から生徒を観察したり、保護者に適切に助言をいただいた。他機関との連携等もスムーズに進めることができた。</p> <p>○●就学相談では、期日に難があり、厳しいところもあったが、保護者との連携のもと進めることができた。</p> <p>○巡回相談では主に支援学級の生徒にスポットをあてることができた。</p>	<p>*スクールカウンセラーが方向性を示していたにいたるケースが多くあり、専門家の助言がいただける体制はありがたい。</p> <p>*限られた体制や時間の中で、学校の努力は感じている。</p> <p>*発達課題のある生徒を支える体制づくりを教員間の共通理解のもと、進めることが大切である。</p>	<p>*生徒の困り感を和らげるための支援をどのようにしていくかについて、教職員が常に意識する雰囲気作つため、研修会を計画する。</p> <p>*スクールカウンセラーの助言のもと、個別の指導計画の作成・活用、他機関との連携を保護者の思いに寄り添いながら組織としてできるよう体制作りを進める。</p> <p>*個別指導計画の効果的な活用に向けて、効果のあった支援について教師間が情報交換を行う。</p> <p>*巡回相談を利用し、支援学級についても支援のあり方を検討していく。</p> <p>*特別支援教育の視点に立った授業改善を行う。</p> <p>*特別支援の校内研修の回数を増やし、教職員の特別支援教育に関する力量を高める。</p> <p>*小中高の連携を密にし、スムーズな支援ができるようにする。</p> <p>*6月の就学相談に向けての取り組みを早期から始める必要がある。</p>
		24	B			<p>○学校の情報提供は、概ね通信やホームページ等で行った。ホームページの更新をこまめに行い、トピックスのコーナーを新設した。月に1週間、学校公開週間を設定したが、来校者も少なく、2学期末からは月に1度授業参観日を設定した。</p> <p>○避難訓練を学期に一度実施し、その際に防災に関する学習を実施した。教員についても消火訓練を実施した。</p> <p>○メール配信システムには多数の保護者が登録いただき、緊急時の連絡に役立った。</p> <p>○毎朝の地域の見守り活動には、本当に感謝している。</p> <p>○9月21日滋賀県総合防災訓練の会場として、本校体育館にて避難所訓練を実施した。生徒の動きには地域から賞賛の声をいただいた。</p> <p>○大規模改修2年目を迎え、学習環境としては厳しい状況にはあるが、古い校舎や仮設校舎から新しく完成した校舎に移転した2、3年生は落ち着いて学習に臨んでいる。</p> <p>○●7月、12月に実施した生徒アンケートにおいて、「学校は安全・安心で、落ち着いた学習環境の中で学習ができていますか」という質問に対し、肯定的な評価は昨年度は7月は52%、12月は58%、今年度入り61%と若干上向きになったことは評価したい。ただ、まだ満足できる値でないで、努力を重ねたい。</p> <p>●危機管理マニュアル、個人情報取扱規程は年度当初に周知し、徹底を図ったが、避難訓練では教員の動きに課題が見られた。</p>	<p>*県の総合防災訓練では、長等学区の方が400名以上体育館に避難する訓練であったが、中学生のボランティアが本当によく動いてくれた。多くの称賛の声を聞き、誇らしい気持ちになった。</p> <p>*安心安全な環境づくりは、学校の安全配慮義務を果たす上でも、大変重要なことである。PTAとしても、保護者の目から見て改善してほしいことを要望書として、市教委に提出した。少しずつでも改善してもらえれば、ありがたい。</p> <p>*通信での発信は、見てもらえてこそ効果が得られる。内容の工夫とともに、配布手段の工夫もすべきである。</p> <p>*保護者との交流は、学校から保護者への直流ではいけない。保護者から学校への意見を受信することが大切である。</p> <p>*学校公開週間は、参加者は少ないようだが、学校の敷居を下げる意味でも継続してほしい。一週間の公開期間に普段の生徒の姿を見てもらえる機会は保証すべきである。</p>	<p>*学校だよりや学年通信は定期的に発行できているので、生徒が家庭に確実に持って帰って保護者の目に触れるよう工夫をしていく。</p> <p>*ホームページについては、更新回数を増やすなど努力をしたが、さらに親しみが持てるよう工夫を凝らしたい。</p> <p>*防災教育の充実を図り、避難訓練等の意識付けをしっかりと行う。地域の防災訓練への参加なども積極的呼びかけたい。</p> <p>*今年度の見守り活動を継続できるよう、生徒会活動によるあいさつ運動の充実を図るとともに、PTA活動や地域の方々にも協力をお願いしたい。</p> <p>*次年度の途中で大規模改修が終了し、学習環境も整備されるので、授業を大切にす取り組みを教員一丸となって進めていく。</p> <p>*毎月安全点検は複数の目でを行い、危険箇所等の早期発見に努めたい。</p> <p>*安全・安心な環境づくりは、学校教育の根底にあたるものであり、このアンケート結果を真摯に受け止め、さらなる改善を図りたい。</p>
		25	A			<p>○●7月、12月の生徒アンケートで、「学校生活は楽しいか」という質問に対して、肯定的な評価がともに87%、88%であった。</p>	<p>*楽しいことは何よりだが、今後は「楽しいの質」にこだわってほしい。</p>	<p>*皇中に誇りを持ち、いきいきと活動できる学校となるよう、「楽しさの質」にこだわって、さまざまな教育活動を推進していきたい。</p>
9	特別支援教育の充実	26	B	A	A	<p>○●7月、12月に実施した生徒アンケートにおいて、「学校は安全・安心で、落ち着いた学習環境の中で学習ができていますか」という質問に対し、肯定的な評価は昨年度は7月は52%、12月は58%、今年度入り61%と若干上向きになったことは評価したい。ただ、まだ満足できる値でないで、努力を重ねたい。</p> <p>●危機管理マニュアル、個人情報取扱規程は年度当初に周知し、徹底を図ったが、避難訓練では教員の動きに課題が見られた。</p>	<p>*楽しいことは何よりだが、今後は「楽しいの質」にこだわってほしい。</p>	<p>*皇中に誇りを持ち、いきいきと活動できる学校となるよう、「楽しさの質」にこだわって、さまざまな教育活動を推進していきたい。</p>
		27	A			<p>○●7月、12月に実施した生徒アンケートにおいて、「学校は安全・安心で、落ち着いた学習環境の中で学習ができていますか」という質問に対し、肯定的な評価は昨年度は7月は52%、12月は58%、今年度入り61%と若干上向きになったことは評価したい。ただ、まだ満足できる値でないで、努力を重ねたい。</p> <p>●危機管理マニュアル、個人情報取扱規程は年度当初に周知し、徹底を図ったが、避難訓練では教員の動きに課題が見られた。</p>	<p>*楽しいことは何よりだが、今後は「楽しいの質」にこだわってほしい。</p>	<p>*皇中に誇りを持ち、いきいきと活動できる学校となるよう、「楽しさの質」にこだわって、さまざまな教育活動を推進していきたい。</p>
		28	A			<p>○●7月、12月に実施した生徒アンケートにおいて、「学校は安全・安心で、落ち着いた学習環境の中で学習ができていますか」という質問に対し、肯定的な評価は昨年度は7月は52%、12月は58%、今年度入り61%と若干上向きになったことは評価したい。ただ、まだ満足できる値でないで、努力を重ねたい。</p> <p>●危機管理マニュアル、個人情報取扱規程は年度当初に周知し、徹底を図ったが、避難訓練では教員の動きに課題が見られた。</p>	<p>*楽しいことは何よりだが、今後は「楽しいの質」にこだわってほしい。</p>	<p>*皇中に誇りを持ち、いきいきと活動できる学校となるよう、「楽しさの質」にこだわって、さまざまな教育活動を推進していきたい。</p>
10	安全安心な学校	29	A	A	A	<p>○●7月、12月に実施した生徒アンケートにおいて、「学校は安全・安心で、落ち着いた学習環境の中で学習ができていますか」という質問に対し、肯定的な評価は昨年度は7月は52%、12月は58%、今年度入り61%と若干上向きになったことは評価したい。ただ、まだ満足できる値でないで、努力を重ねたい。</p> <p>●危機管理マニュアル、個人情報取扱規程は年度当初に周知し、徹底を図ったが、避難訓練では教員の動きに課題が見られた。</p>	<p>*楽しいことは何よりだが、今後は「楽しいの質」にこだわってほしい。</p>	<p>*皇中に誇りを持ち、いきいきと活動できる学校となるよう、「楽しさの質」にこだわって、さまざまな教育活動を推進していきたい。</p>
		30	B			<p>○●7月、12月に実施した生徒アンケートにおいて、「学校は安全・安心で、落ち着いた学習環境の中で学習ができていますか」という質問に対し、肯定的な評価は昨年度は7月は52%、12月は58%、今年度入り61%と若干上向きになったことは評価したい。ただ、まだ満足できる値でないで、努力を重ねたい。</p> <p>●危機管理マニュアル、個人情報取扱規程は年度当初に周知し、徹底を図ったが、避難訓練では教員の動きに課題が見られた。</p>	<p>*楽しいことは何よりだが、今後は「楽しいの質」にこだわってほしい。</p>	<p>*皇中に誇りを持ち、いきいきと活動できる学校となるよう、「楽しさの質」にこだわって、さまざまな教育活動を推進していきたい。</p>
		31	A			<p>○●7月、12月に実施した生徒アンケートにおいて、「学校は安全・安心で、落ち着いた学習環境の中で学習ができていますか」という質問に対し、肯定的な評価は昨年度は7月は52%、12月は58%、今年度入り61%と若干上向きになったことは評価したい。ただ、まだ満足できる値でないで、努力を重ねたい。</p> <p>●危機管理マニュアル、個人情報取扱規程は年度当初に周知し、徹底を図ったが、避難訓練では教員の動きに課題が見られた。</p>	<p>*楽しいことは何よりだが、今後は「楽しいの質」にこだわってほしい。</p>	<p>*皇中に誇りを持ち、いきいきと活動できる学校となるよう、「楽しさの質」にこだわって、さまざまな教育活動を推進していきたい。</p>
		32	B			<p>○●7月、12月に実施した生徒アンケートにおいて、「学校は安全・安心で、落ち着いた学習環境の中で学習ができていますか」という質問に対し、肯定的な評価は昨年度は7月は52%、12月は58%、今年度入り61%と若干上向きになったことは評価したい。ただ、まだ満足できる値でないで、努力を重ねたい。</p> <p>●危機管理マニュアル、個人情報取扱規程は年度当初に周知し、徹底を図ったが、避難訓練では教員の動きに課題が見られた。</p>	<p>*楽しいことは何よりだが、今後は「楽しいの質」にこだわってほしい。</p>	<p>*皇中に誇りを持ち、いきいきと活動できる学校となるよう、「楽しさの質」にこだわって、さまざまな教育活動を推進していきたい。</p>
11	学校満足度	33	A	A	A	<p>○7月、12月の生徒アンケートで、「学校生活は楽しいか」という質問に対して、肯定的な評価がともに87%、88%であった。</p>	<p>*楽しいことは何よりだが、今後は「楽しいの質」にこだわってほしい。</p>	<p>*皇中に誇りを持ち、いきいきと活動できる学校となるよう、「楽しさの質」にこだわって、さまざまな教育活動を推進していきたい。</p>

評定(達成度)の目安

達成度	指 標
A	満足できる
B	どちらかというと満足できる
C	どちらかといえば課題がある
D	課題がある